

令和２年度 中部地方整備局事業継続力認定制度検討委員会
議事概要

日 時：令和３年１月２６日（火）１０：００～１１：００
場 所：Web 会議

１．開会

２．主催者挨拶

３．議事

（１）ガイドラインの改訂（案）

①ガイドラインの改訂（案）について説明し、承認された。

②意見・質問等 別紙のとおり

（２）今後の取組み

①今後の取組みについて説明し、承認された。

②意見・質問等 別紙のとおり

４．閉会

以上

意見・質問等

議題 番号	意見・質問等	回答等
(1)	今回のガイドライン改訂案は記載の漏れ・落ちを防止するための対策であるが、今後 BCP の有効性や必要性の理解不足という観点から見直しを検討していくべきである。	今後検討する。
	次のステージとして巨大地震だけでなく近年頻発する風水害や地域性を踏まえたハザード（雪害、火山など）の観点で BCP を作成していくことも大事になる。	認定率等の状況をみて、今後の検討課題とする。
(2)	認定率について、企業規模が関係している可能性がある。もし中小企業の認定率が低いなどといった傾向があれば対策を検討する必要がある。	今回、中山間地域で認定率が低い傾向がみられた。企業規模の観点からも分析し、必要であれば対策を検討する。
	認定の地域分布を踏まえて、全体で空白域が無く、すそ野を広げていく方針については良い。その後、実効性向上に向けて、徐々に BCP 認定（更新）のハードルを上げていく方針とすること。	了解する。
	災害時に地域の中核となる会社を軸として、民民の横連携や地域毎で WS 等開催するなどして地域防災力強化に向けた戦略的な展開も検討していくことが必要である。	今後検討する。
	来年度から予定している講習会等において、各項目の必要性や重要性について講義していくことも必要である。その内容も含めて BCP 作成のノウハウを指導していくことを考えていくべきである。	今後検討する。
	認定更新には講習会等の参加有無・回数や訓練内容も評価するなど、何か実効性向上に繋げるものとして検討したらどうか。	今後検討する。
	実効性向上には各社の継続的な訓練の実施が不可欠である。有効かつ効果的な訓練内容・実施方法等について紹介していく場が必要である。	来年度、訓練実施事例を収集しサイトに掲載し、また、講習会等で紹介或いは発表するなどして、実施事例の紹介方法を検討する。